

介護、福祉、相続などみなさんの疑問にお答えします♪



食欲の秋到来！買い物中についついしめじを衝動買いしてしまう私ですが、最近、舞茸の誘惑に負けてしまいそうな企画室の黒田です。



今月号では前回ご説明しました、「信託」の具体例をお話します。

高齢になり土地の管理が面倒になってきた自分（Aさん）が、自分が所有している貸地（駐車場）を息子（Bさん）に託して、その貸地から得た収入を孫（Cさん）に与える、という取り決めが信託となります。Bさんは、あくまでも財産の管理人という位置付けで、信託の目的（例：孫の生活資金の援助）に基づきAさんの財産を管理します。

今回の例では、信託の目的が「孫の生活資金の援助」でしたので「受益者」がCさんでしたが、目的が変われば「受益者」を自分（Aさん）とすることもできます。信託というと、「信託銀行」や「投資信託」といった、資産運用に関するものをイメージする方が多いのではないのでしょうか。信託とは、資産運用に限った話ではなく、また多くの資産を持っている方だけに関係のあるものではありません。認知症になった場合に銀行預金が入りなくなるのを信託を使って回避するなど、全ての方が利用できる、とても身近な財産管理の方法です。

信託の仕組み



次号では、いよいよ本題の「家族信託」についてご紹介します。

みんなのらくがき帳

～編集部からの自由コラム～

秋の気配もいよいよ深くなってきました。

スポーツの秋より食欲の秋を満喫している武生支店の丹羽です。

武生支店の近くにだるまちゃん広場が8月11日にオープンしました。大型の遊具が導入され、近隣の子供さん連れで大盛況です♪

雨天時も建物内で飲食できるスペースがあり、これからの季節にもってこいです。10月5日より同じ敷地内で菊人形も開催されますので、併せて一度訪れてみてはいかがでしょうか？



発行

TASSAY

「建てる」を応援する会社。
株式会社タッセイ

2017年10月15日発行

Vol.036号



タッセイ通信

「建材」と「愛」をお届けするタッセイの「人柄」を見せる情報誌



三代目奮闘記



皆様、こんにちは！果物が美味しい実りの秋、好物の梨が食べれるので嬉しいタッセイ3代目 副社長の田中陽介です。

さて先日、県外から35名以上の20~30代の若い方たちが弊社に来られました。その顔ぶれはデザイナー・広告代理店・金融・保育士・NPO団体など、実にさまざまで、その大半が福井に所縁のない関東や関西、中京エリアからの参加です。施工中の内装職人の働く姿や、建材をストックする物流倉庫を見学して貰い、私と専務の中村よりタッセイの歴史やイノベーションの歩み、そして大切にしている「建てる」を応援する思いについて存分に語らせて頂きました。



何故そんな事をしているかという

福井市と福井新聞社が行う「ふくい魅える化プロジェクト」という活動に参加しているんです。

福井の魅力や価値を外からの目を通じて掘り起こして、分かりやすく見える化して発信する、そんな目的で次代のデザイナーを育成小さな教室“XSCHOOL”がスタートしました。「絹織物・味噌・建材卸」という「衣・食・住」分野のパートナー企業の1社としてタッセイは2月まで全国各地から集まる方たちと新たなクリエイティブの実験を行います。

参加する方たちと話していると正直、僕らが普段考える視点とは全く違う方角から種類の異なるボールがバンバン飛んでくるような感覚です！う、受け止め切れない…。そんな人たちにタッセイからお願いしたことは、『これからの建設業界に風穴を開ける新しいアイデアに期待しています』何が起きるかは未知数ですが建設業界を盛り上げるべく新しい挑戦が始まりました。

株式会社タッセイ
代表取締役副社長 田中陽介



わかやま たかゆき
名前：若山 隆行
所属：経営企画推進室
入社：3ヶ月

自己PR：新しい環境へすぐ馴染めるところ
※よく、まだ入社3ヶ月!?と驚かれます。(笑)



タ：タッセイ通信今月号は、経営企画推進室の頼れるアニキ！若山隆行課長です。

タッセイに入社を決めた理由を教えてください。

若：昔からの知人に紹介してもらったのがきっかけです。それまであまり転職は考えていませんでしたが、昨年副社長直々にタッセイに必要だから来て欲しいと言ってもらい入社を決めました。前の職場でも楽しく仕事をしましたし、正直転職となるとかなり迷いましたが、必要とされていることが嬉しかったですね。



タ：前職は、バリバリの銀行員だったんですね？かなり思い切った決断ですね！

若：確かに思い切りました！(笑)でも、新しい環境や新しい仕事ができることが楽しかったですね。

前職とは畑違いですが、これからの仕事に僕なりにこれまでの経験を活かしていくつもりです。

あと入社して驚いたのが、幹部の方たちと気軽に話が出来ることです。すごく風通しが良いですね。

風通しが良いからこそ、指揮系統をしっかりとせるともっと働きやすくなるような気がします！

タ：おお～！さすがの分析力！中途採用の方じゃないとなかなか自分たちの会社を客観視することって難しいので
どんどん新しい意見を聞かせて下さい！それでは、休日の楽しみは何かありますか？

若：休日はすべて二人の息子に捧げています！息子たちが懸命にサッカーに打ち込む姿や、試合に負けて涙してるのを見ると青春していると感じます(*^_^*)今のうちにやりたいことは全部経験させてあげたいです。

タ：子どもの頃の経験したことって大人になっても覚えているものですね！

最後に今後の抱負を聞かせて下さい。

若：今までは営業としてお客様に感謝されてきましたが、これからは社内に向けた

仕事が多く社員の方から「ありがとう！」と言われるような部署にしたいです。あとは息子に

プロサッカー選手になってもらって、『契約金でリフォーム!!』が最大の夢ですかね♪(笑)

若山隆行さんお忙しいところ、ありがとうございました！

来月は、小松支店の富永順平さんです！



みなさんこんにちは、タッセイ通信のコーナー初担当の、電話口で苗字を聞き取ってもらえない経営企画推進室の花田（ハナタ！）です。

さて、今回のイベントレポートは先月実施した「建設業の魅力がわかる！タッセイ 5days インターンシップ」についてお届けします。
タッセイとしても初めての5日間に渡るインターンシップ。
学生のみなさんにより建設業界の魅力を知ってほしい！という思いで開催し7名の学生に参加していただきました。内容は、建設業界についての説明、お客様の要望を形にする製図体験、建築中の現場やショールーム、モデルハウスの見学、水回りコーディネーター体験など。



現場見学の様子

最終日には5日間の内容を「タッセイ新聞」という形で自由にまとめてもらいました。

水回りコーディネーター体験では、キッチンそれぞれ自由に理想のものを、

システムバスは130万円以内という条件を加えてプランニングしました。

普段何気なく使っている身近なものの壁の色や取手の種類、収納の位置や形まで

自分で考えることができるので、盛り上がりを見せたと同時に、理想と予算の調整に苦戦していました(笑)

研修を終え学生からは「職人さん、工務店さん、メーカーさんなどが協力し合って建設業界を

支えていることがわかった」、「『かたちに残る仕事』とはどういうものか実感できた」、

「最新のキッチンは使い勝手がよくて利用する人への配慮がすばらしかった」などの感想が挙がっており、

それぞれ有意義な時間を過ごせたようでした。

私自身も普段はなかなか現場に行く機会がないので、家づくりのこだわりや思いを直接聞くことができ

大変勉強になりました。ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました！

